

～ やさしく かしく たくましい子ども ～

心の鏡



島原市立第一小学校

学校だより No.9

令和8年6月22日(月)

文責：校長 園田栄作

夢の教室（5年生）

～ 元サッカー日本代表の選手が来てくださいました！ ～

16日（火）、17日（水）に「夢の教室」を開催しました。この「夢の教室」は、島原市が日本サッカー協会と連携し行っており、様々な競技の現役選手やOBの方に「夢先生」として登壇していただき、話を聞きながら、自分の夢についても考えるという取組です。長崎県でこの取組を行っているのは島原市だけであり、とても貴重な機会を設けていただきました。今回、第一小学校には、2名の元サッカー日本代表選手、渡邊千真選手（16日）、徳永悠平選手（17日）に来ていただきました。日本のトップレベルの経験をされたお二人ですが、そこまでの道のりは決して順風満帆ではなく、悔しい経験や悩んだ経験をされており、その経験をどうやって乗り越えたかが子どもたちの心に特に響いたようでした。これからの自分の夢に向けての取組に生かそうとする思いを強くしていました。



渡邊千真選手は、国見高校の時にはインターハイで得点王に輝いたり、横浜F・マリノスなどのプロチームで活躍したり、日本代表にも選ばれました。

そんな渡邊選手ですが、早稲田大学の1年生の時に足の大ケガをして、3ヶ月間サッカーができなかったそうです。その時に考えたのが、「先輩たちと比べるのではなく、自分のやるべきことに集中する」「自分のやるべきことをやり続ける」だったそうです。渡邊選手の話で特に印象に残ったのが、「やり続ける」でした。それだけ、「やり続ける」ことの難しさも味わったからだと思います。その経験をした渡邊選手の言葉は重く、子どもたちの心に響きました。

徳永悠平選手は、国見高校の時には三冠を達成したり、FC東京やVファーレンなどのチームで活躍したり、日本代表としてアテネオリンピックにも出場しました。

そんな徳永選手ですが、国見高校の1年生の時に、練習についていけない、試合に出られないなどの挫折を味わったそうです。その時に考えたのが、「自分には好きなサッカーをやるために、支えてくれる家族や励ましてくれる同級生がいる。そういう人のために頑張ろう。」と立ち上がったそうです。また、常に心がけていたことが、「あいさつや礼儀」だそうです。選手としてのみならず、人としての素敵な生き方も教えていただくことができました。

一っ子の心を見つめる教育週間 [6月22日(月)～26日(金)] ～ 第一小学校に ぜひお越しください! ～

長崎県では、県下一斉に「心を見つめる教育週間」を設け、いじめ防止や命の大切さについて考え、保護者や地域と連携して、「心豊かな長崎っ子」を育てることを目的として取り組んでいます。第一小学校では、6月22日(月)～26日(金)までを、「一っ子の心を見つめる教育週間」としています。下記のとおり、授業参観・学級部会として設定しています。また、授業参観以外でも期間中は参観できますので、ご来校の上、子どもたちの様子を観ていただきますようお願いいたします。



【学校公開時間】

月・水・金 (1～4校時 8:25～11:55) (5～6校時 13:35～15:15)
火・木 (1～4校時 8:25～11:55) (5～6校時 13:15～14:55)

【主な内容】

- あいさつ運動(通学路、学校周辺横断歩道)
- 道徳の授業参観・学級部会 24日(水) 3・4年生(13:35～)
25日(木) 5・6年生(13:15～)
26日(金) 1・2年生(13:35～)

【お願い】

- 駐車場として運動場を解放していますが、フェンス沿いに島原城側から駐車されてください。
- 防犯対策として、出入りは正面玄関のみとしています。運動場側の2カ所の児童玄関は、体育の時以外は施錠していますので、ご注意ください。
- ご来校時は、用紙に記名の上、名札をお付けください。

森岳交通少年団(6年生)が始動

～ 笑顔のあいさつで、地域の安全を守ります! ～

19日(金)に、さっそく森岳交通少年団(6年生)が始動しました。それぞれ決められた場所に配置し、交通安全の旗を掲げて、登校してくる子どもたちを、しっかりと安全に誘導することができました。

また、黄緑色のビブスを着て立っていることで、車の運転手も気付きやすく、安全運転を心がけてくださいます。

さらに、交通少年団の子どもたちのあいさつにはパワーがあり、子どもだけでなく、保護者や地域の人にも笑顔にしてくれます。

